資料 No. 4

令和 8 年 10 月 8 日

報道機関各位

長岡市環境部環境政策課長

長岡市

小中学生が環境にやさしい行動について考えました！
デコ活4コマまんがコンクールの受賞作品が決定

長岡市は、市内小中学生を対象に、「デコ活※」をテーマにした４コマまんが作品を募集しました。これは、子どもたちが成長し、社会人となった際に積極的に環境保全活動に取り組むことができるような人材を育てることを目的に実施したものです。

このたび、今年度の受賞作品が決定しました。なお、今年度は長岡造形大学出身の漫画家 KENT さんより金賞受賞者に向けてメッセージをいただきました。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いします。

令和 8 年度 デコ活 4 コマまんがコンクール

１	募集期間	６月 15 日～９月 7 日
２	募集テーマ	小学校 1～3 年生…わたしの工夫 小学校 4～6 年生…くらしの中の見直し 中学校 1～3 年生…未来につながる選択
３	応募状況	応募総数　341 作品 （小学校　102 作品、中学校　239 作品）
４	審 査 員	長岡市環境審議会委員、学校教育課指導主事、環境部職員
５	結　　果	・受賞作品一覧については別紙のとおり ・漫画家 KENT さんから金賞受賞者へのメッセージ 「環境への取り組みが自身の健康やより良い生活にも繋がるかもしれませんね。皆さんのポジティブな捉え方が素晴らしいです。」
６	そ の 他	・受賞した児童・生徒への取材を希望する場合は、学校への確認を行うため、事前に環境政策課へご連絡をお願いします。 ・受賞した作品は、市ホームページやトキと自然の学習館で公開するなど、広くＰＲに活用します。

※デコ活：二酸化炭素（Co_2）を減らす脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含むデコと活動・生活を組み合わせた、脱炭素に繋がる新しい豊かな暮らしを創る国民運動の愛称です（環境省 HP）。

問い合わせ：長岡市環境部環境政策課　近藤
TEL０２５８－２４－０５２８

別　紙

受賞作品一覧

【テーマ　わたしの工夫（小学校１～３年生）】

金賞　「ゴミをへらすくふう」　日越小学校３年　村山　遥音さん
銀賞　「自分にできること」　小国小学校３年　中沢　颯太さん
銅賞　「ちきゅうのためにできること」　日越小学校２年　吉川　結乃さん
銅賞　「みずをたいせいにつかおう」　新潟大学附属長岡小学校１年　佐野　絢香さん

【テーマ　くらしの中の見直し（小学校４～６年生）】

金賞　「車で行くの？」　脇野町小学校６年　小林　百恵さん
銀賞　「私の家のデコ活」　豊田小学校４年　星野　葵音さん
銅賞　「マイボトルをあたり前に！」　新潟大学附属長岡小学校４年　粉川　愛絆さん
銅賞　「できることから始めよう。」　阪之上小学校５年　神保　心晴さん

【テーマ　未来につながる選択（中学生１～３年生）】

金賞　「手前どりをしたら２つの良いことが...！？」　大島中学校３年　和田 夏希さん
銀賞　「テレワークしよう！」　西中学校３年　石井　鈴夏さん
銅賞　「私たちが海のためにできること」　大島中学校１年　渡邉　咲希さん
銅賞　「ぜんぶたべよう！」　大島中学校３年　小林　咲成さん

すべての受賞作品については、QR コードからご確認ください。

別　紙

令和８年度デコ活コンクール金賞作品一覧



受　賞　者

日越小学校３年　村山　遥音さん

テ　ー　マ

わたしの工夫
（小学校１年～３年）

作成理由・感想

りゆうは図書館で「ゴミ～世界で一番やっかいなもの～」という本をよんでゴミはかんきょうによくないということを知ったからです。またいしきしていないだけで毎日ゴミを出していたことに気づくこともできました。

そこで家ぞくと相だんし自分たちに何かできることがないか考えできるだけゴミを出さないよう外に出かけるときはおべんとうを持っていくことにました。

これからもできるだけゴミを出さないよう工夫していきたいです。

別　紙



受　賞　者

脇野町小学校６年　小林　百恵さん

テ　ー　マ

くらしの中の見直し
（小学校４年～６年）

作成理由・感想

大人の人にも未来の地球のことについて考えてほしいと思ったので、４コマまんがをかきました。

私も暮らしの中で見直せることは案外たくさんあるんだなと気づけました。

別　紙



受　賞　者

大島中学校３年　和田　夏希さん

テ　ー　マ

未来につながる選択
（中学校１年～３年）

作成理由・感想

私の家ではコーヒーをのむ人が多く、毎日牛乳を使っています。そのため、すぐになくなります。なので、母は「すぐのむから」といって日付の早い牛乳を手前どりをしているのを見て、かきました。

「未来につながる選択」というテーマのように小さな選択が世界をかえると思うと「手前どり」という何てことのない行動もしっかりしていきたいと思いました。